

CASBEE-広島 (2010年ver.1)
広島港出島地区CFS新築工事

用途等で評価が不要となる項目については、自動的に網掛けが入ります
 欄に数値またはコメントを記入

■使用評価マニュアル CASBEE広島 2009年版
 ■ベース評価ソフト: CASBEE-NCb_2008(v.3.2)

スコアシート		実施設計段階		建物全体・共用部分		住居・宿泊部分		全体
配慮項目	環境配慮設計の概要記入欄	評価点	重み係数	評価点	重み係数			
Q 建築物の環境品質								1.9
Q1 室内環境								
1 音環境								
1.1 騒音								
1	暗騒音レベル							
	設備騒音対策							
1.2 遮音								
1	開口部遮音性能							
2	界壁遮音性能							
3	界床遮音性能(軽量衝撃源)							
4	界床遮音性能(重量衝撃源)							
1.3 吸音								
2 温熱環境								
2.1 室温制御								
1	室温設定							
	夏期室温制御							
3	外皮性能							
4	ゾーン別制御性							
	夏期室温制御							
	冬期室温制御							
	夏期室温制御							
	冬期室温制御							
	夏期室温制御							
	冬期室温制御							
2.2 湿度制御								
2.3 空調方式								
3 光・視環境								
3.1 昼光利用								
1	昼光率							
2	方位別開口							
3	昼光利用設備							
3.2 グレア対策								
	眩れ防止							
2	昼光制御							
3.3 照度								
1	照度							
	照度基準							
3.4 照明制御								
4 空気質環境								
4.1 発生源対策								
1	化学汚染物質							
	化学汚染物質							
	化学汚染物質							
4.2 換気								
1	換気量							
2	自然換気性能							
3	取り入れ外気への配慮							
	換気量							
4.3 運用管理								
1	CO ₂ の監視							
2	喫煙の制御							
Q2 サービス性能								
1 機能性								
1.1 機能性・使いやすさ								
1	広さ・収納性							
2	高度情報通信設備対応							
3	バリアフリー計画							
1.2 心理性・快適性								
1	広さ感・景観							
2	リフレッシュスペース							
3	内装計画							
1.3 維持管理								
1	維持管理に配慮した設計							
2	維持管理用機能の確保							
2 耐用性・信頼性								
2.1 耐震・免震								
1	耐震性							
2	免震・制振性能							
2.2 部品・部材の耐用年数								
1	躯体材料の耐用年数							
2	外壁仕上げ材の補修必要間隔							
3	主要内装仕上げ材の更新必要間隔							
4	空調換気ダクトの更新必要間隔							
5	空調・給排水配管の更新必要間隔							
6	主要設備機器の更新必要間隔							

2.4 信頼性			1.0	0.19		-	
1	空調・換気設備		1.0	0.20		-	
2	給排水・衛生設備		1.0	0.20		-	
3	電気設備		1.0	0.20		-	
4	機械・配管支持方法		1.0	0.20		-	
5	通信・情報設備		1.0	0.20		-	
3 対応性・更新性			3.0	0.29		-	3.0
3.1 空間のゆとり			3.0	0.31		-	
1	階高のゆとり		3.0	0.60		-	
2	空間の形状・自由さ		3.0	0.40		-	
3.2 荷重のゆとり			3.0	0.31		-	
3.3 設備の更新性			3.0	0.38		-	
1	空調配管の更新性		-	-		-	
2	給排水管の更新性		3.0	0.20		-	
3	電気配線の更新性		3.0	0.13		-	
4	通信配線の更新性		3.0	0.13		-	
5	設備機器の更新性		3.0	0.27		-	
6	バックアップスペース		3.0	0.27		-	
Q3 室外環境(敷地内)			-	0.57		-	1.5
1 生物環境の保全と創出			1.0	0.30		-	1.0
2 まちなみ・景観への配慮			2.0	0.40		-	2.0
3 地域性・アメニティへの配慮			1.5	0.30		-	1.5
3.1	地域性への配慮、快適性の向上		1.0	0.50		-	
3.2	敷地内温熱環境の向上		2.0	0.50		-	
LR 建築物の環境負荷低減性			-	-		-	3.4
LR1 エネルギー			-	0.40		-	4.0
1 建物の熱負荷抑制				-		-	-
2 自然エネルギー利用			3.5	0.29		-	3.5
2.1	自然エネルギーの直接利用	トップライトによる自然採光の利用	4.0	0.50		-	
2.2	自然エネルギーの変換利用		3.0	0.50		-	
3 設備システムの高効率化		ERR=50.1	5.0	0.43		-	5.0
4 効率的運用			3.0	0.29		-	3.0
4.1	モニタリング		3.0	0.50		-	
4.2	運用管理体制		3.0	0.50		-	
LR2 資源・マテリアル			-	0.30		-	3.0
1 水資源保護			2.2	0.15		-	2.2
1.1 節水			1.0	0.40		-	
1.2 雨水利用・雑排水再利用			3.0	0.60		-	
1	雨水利用システム導入の有無		3.0	0.67		-	
2	雑排水再利システム導入の有無		3.0	0.33		-	
2 非再生性資源の使用量削減			3.0	0.63		-	3.0
2.1	材料使用量の削減		2.0	0.07		-	
2.2	既存建築躯体等の継続使用		3.0	0.25		-	
2.3	躯体材料におけるリサイクル材の使用	-	3.0	0.21		-	
2.4	非構造材料におけるリサイクル材の使用	-	1.0	0.21		-	
2.5	持続可能な森林から産出された木材		-	-		-	
2.6	部材の再利用可能性向上への取組み	躯体と仕上げ材が容易に分別可能となっている。	5.0	0.25		-	
3 汚染物質含有材料の使用回避			3.6	0.22		-	3.6
3.1 有害物質を含まない材料の使用			3.0	0.32		-	
3.2 フロン・ハロンの回避			4.0	0.68		-	
1	消火剤	ハロン消火剤を一切使用していない。	4.0	1.00		-	
2	断熱材		-	-		-	
3	冷媒		-	-		-	
LR3 敷地外環境			-	0.30		-	3.0
1 地球温暖化への配慮		ライフサイクルCO2排出率が、一般的な建物(参考値)に対して同等(100%)以上、75%以下	4.4	0.33		-	4.4
2 地域環境への配慮			2.1	0.33		-	2.1
2.1 大気汚染防止			3.0	0.25		-	
2.2 温熱環境悪化の改善			2.0	0.50		-	
2.3 地域インフラへの負荷抑制			1.6	0.25		-	
1	雨水排水負荷低減		-	-		-	
2	汚水処理負荷抑制		3.0	0.33		-	
3	交通負荷抑制		1.0	0.33		-	
4	廃棄物処理負荷抑制		1.0	0.33		-	
3 周辺環境への配慮			2.7	0.33		-	2.7
3.1 騒音・振動・悪臭の防止			3.0	0.40		-	
1	騒音		3.0	1.00		-	
2	振動		-	-		-	
3	悪臭		-	-		-	
3.2 風害、日照阻害の抑制			3.0	0.40		-	
1	風害の抑制		3.0	0.70		-	
2	日照阻害の抑制		3.0	0.30		-	
3.3 光害の抑制			1.6	0.20		-	
1	屋外照明及び屋内照明のうち外に漏れる光への対策		1.0	0.70		-	
2	屋光の建物外壁による反射光(グレア)への対策		3.0	0.30		-	